

第51回

神戸海星女子学院大学・短期大学 同窓会総会

会長挨拶



皆様おはようございます。ただ今紹介にあずかりました、会長の深井でございます。どうぞよろしく願いいたします。

本日は海星青谷会の第51回総会にご参加いただき、ありがとうございます。昨年の第50回の総会は、記念総会を開催し、200名を越す多くの会員の皆様にご参加いただきました。正直なところ、今回は参加いただく人数に不安を感じておりましたが、130名を超える皆様にお集まりいただくことができました。安堵と共に感謝しております。また、今回も顧問の岡村先生、常任顧問の小野学長、そして東京支部から本間支部長を始め、役員の皆様にもご参加いただくことができました。ここに参加いただきました皆様方には日頃より、同窓会の活動にご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

さて、昨年の総会で私は在任が3年目となる今年度は、これまでの取り組みに答えを出す年になることを、お伝えしました。また、三役の中で、副会長の三浦と私は、この総会をもちまして、退任させていただくこととなります。そのため次に引き継いでいくための整理作業もこの一年間かけておこないました。

具体的にはまず、これまで4つの銀行で管理してきました、同窓会の会費を、会計士の八木先生のご指導の下、3行にまとめました。これは管理経費の削減と、引き継ぎの作業を軽減するための措置です。また、同窓会室に保管してきた書類の整理をおこないました。そして同時に、三役の作業マニュアルを更新しました。

同窓会は年間を通じて、大学祭への参加、追悼ミサ、総会及びその後に行われるイベント等、様々な事業をおこなってきましたが、現在の役員体制の中では、十分な役目を果たしていない事もあります。これまで同窓会主催の活動となっていました「英語で聖書を読む会」、そして共催となっておりました「西洋美術史講座」につきましては、実情に合わせて、それぞれ同窓会の後援事業に変更させていただくことになりました。これに伴い、西洋美術史講座を応援するために支出してきた補助金を、3年後に廃止することになりました。

英語で聖書を読む会は、シスター本多のご指導の下、海星の建学の精神を生かした講座です。また西洋美術史講座は、同窓会会員の、佐藤よりご様を講師に迎え、学外からも多く方に参加していただく、人気の講座となっています。本日は、その案内のパンフレットを出口のそばに置いております。是非多くの方にご参加いただきますようお願い致します。今回の変更は、これまで会の運営に携わって下さった方々の、暖かいご理解があって成し得た事です。心よりお礼を申し上げます。

さて次に、新年度にあらたに取り組むことを紹介させていただきます。同窓会役員はこれまで懸命に、名簿の管理を行って参りました。名簿管理のコンピューターはこれまで、外部との接続をせずに更新作業を行ってきました。この度はこのコンピューターの買い換えの時期を迎え、セットアップ及びセキュリティ確保のために、インターネットの接続が必要となりました。そこで、大学や専門家の意見を参考に、データ漏洩の可能性が出来るだけない形で、ネットと接続することになりました。さらにこれまで、住所変更や、いただいた情報が正確に反映されているかを確認し、より正確な名簿管理を実現するため、役員経験者の中から、臨時事務職員を雇用することにしました。今後、月2回、6ヶ月の期間作業にあたる予定です。これらの取り組みにつき、皆様のご理解をいただければ幸いです。

加えて、現在の役員をもっとも悩ませているのが、役員を引き受けてくださる方を探すことです。今は抜本的な解消法は見いだせていませんが、今回、行事等を実行する際に手伝える役員が足りないとき、サポートしてくださる会員の登録制度を設けることとしました。申込用紙は、詳しい内容を記載した用紙と共に、お手元のファイルの中に用意させていただきました。本日、受付を行っておりますが、後日メールでご連絡して頂く事も出来ます。是非多くの方に、登録していただければ嬉しく思います。

随分長い説明に耳をかたむけていただき、心より感謝申し上げます。今後も役員の実状や時代の変化に合わせて、同窓会活動を維持していくための取り組みを進めて参ります。会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

本日の審議にご協力いただきますことに改めてお礼を申し上げます。

